

平成28年1月28日

消防局総務課

電話：0742-35-1199

平成27年度 奈良市消防団、DMAT、DPAT合同訓練の実施について

奈良市消防団では、消防団、DMAT（ディーマツト）、DPAT（ディーパット）合同訓練を昨年度に引き続き、実施します。

1 目的

奈良市においては、近鉄、JRといった軌道敷交通網、奈良交通の路線バスは市民生活に欠かせない交通手段となっている。また、国際観光都市として多くの観光バスが市内を行き交う。

このような状況の中、鉄道、バスは大量輸送が特徴であり、事故が起きると多くの死傷者を出すことになる。

こうした公共交通機関における災害は、専門知識や関係機関の協力なくして円滑な消防団活動は望めず、常備消防、鉄道事業者、医療支援機関との連携を目的に合同訓練を実施し、災害に備える。また昨年度実施した同訓練の課題を踏まえ、特に他機関との連携の強化と役割分担の明確化を図ることを目的とします。

2 訓練実施の背景

- (1) 平成25年12月、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、消防団を中核とした地域防災力の強化に取り組んでいるところです。
- (2) 平成26年7月、消防団員を対象にWHO版の心理的応急処置「サイコロジカルファーストエイド（PFA）」の研修を受講し、専門家以外でもできる心理的応急処置を習得しました。
- (3) 平成27年2月、奈良ロイヤルホテルで実施した合同訓練レビューから出された課題を訓練に組み込みます。
- (4) 災害時には、それぞれの機関が単独では機能することが難しく、消防関係機関、医療関係、行政等が平時に【顔の見える関係づくり】をしていることが必要と考えます。

3 日時

平成28年2月7日（日）14：00～16：30

4 場所

奈良市尼辻北町

近畿日本鉄道(株)西大寺検車区、近鉄スポーツセンター

5 主催 奈良市消防団

共催 奈良市消防局、近畿日本鉄道、日本DMAT、DPAT事務局

## 6 内容

### (1) 訓練想定

奈良市内の近鉄踏切（大和西大寺、新大宮間）において、走行中の近鉄電車にトラックが電車側面に衝突、電車は脱線。多数の負傷者が出た。

※ 訓練は、ブラインド型訓練で実施します

### (2) 実施項目

#### ア 訓練Ⅰ

近鉄西大寺検車区内で営業用車両を使用し、近鉄社員は安全確認と乗客の避難誘導を行います。

また、奈良市消防局は警察と医療機関等関係機関において救護、救命処置及び情報共有訓練、消防団による乗客の避難誘導を実施します。また、奈良県防災航空隊による状況調査訓練を上空から実施します。

#### イ 訓練Ⅱ

隣接の近鉄スポーツセンターにおいて避難誘導された乗客の応急救護所を開設します。

消防団は、救護活動（特に、医療等の複数の支援者と連携しながら乗客のこころのケア）を行います。

## 7 訓練対象機関

奈良市消防団、奈良市消防局、奈良・奈良西警察署、近畿日本鉄道、DMA T 2 隊（市立奈良病院、奈良県総合医療センター）D P A T 8 隊（奈良、兵庫、京都、大阪、佐賀、沖縄、千葉、富山）、奈良市医師会、奈良市女性防災クラブ、日赤救護班、奈良県防災航空隊等

※DMA T ≧大震災、列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な医療チーム

※D P A T ≧自然災害、列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後に被災者及び支援者に対して、精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な精神医療チーム

## 8 参加人数

奈良市消防団 188 名、奈良市消防局職員 44 名、奈良市女性防災クラブ 40 名を含む約 500 名（オブザーバー含む）

## 9 開催経費（平成 27 年度当初予算）

210,000 円

## 10 訓練詳細（図）

別添え

## 1 1 参考

### (1) 消防団員数について

全国（平成26年10月1日現在）

団数 2,220 団（減少傾向） 団員数 867,802 人（減少傾向）

内 女性団員数 22,296 人（増員傾向）

奈良市消防団（平成27年4月1日現在）

分団数 1 本団 2 2 分団（女性分団 1 分団）

団員数 976 人（条例定数 1,000） 内 女性団員数 34 人（条例定数 40）

### (2) DPATの位置付けについて

第34回中央防災会議（平成26年3月28日）で、大規模地震災害・減災対策大綱、首都直下地震緊急対策推進計画、南海トラフ地震防災対策推進基本計画等でDPATの位置づけが明記されました。

平成27年6月16日決定の国土強靱化アクションプラン2015に災害派遣精神医療チームDPATが盛り込まれました。

### (3) DPATの出動について

平成26年広島土砂災害、御嶽山噴火に出動しました。

平成27年9月関東・東北豪雨に出動しました。

### (4) 昨年度の合同訓練について

平成27年2月9日 奈良ロイヤルホテルで実施しました。

訓練概要ですが、消防団による避難誘導訓練、その後、避難所における対応訓練として、救急隊やDMAT、DPATといった大規模災害時における専門的医療チームなどの医療支援機関と連携した傷病者の応急処置、さらに被災者に対する心理的応急処置訓練を427名の参加のもと、実施しました。

別添え資料

### (5) 今回の訓練と「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」との関連性、訓練により期待される考課や成果について

法律の第3条の基本理念にあります、地域防災力の充実強化は、災害発生時には、地域で即時に対応できる消防団がその中核的な役割を果たすこと等を踏まえ、今回実施の訓練においては、災害発生時の避難所における消防団が中心となり、様々なケアを必要とする被災者の対応、支援者（消防職団員等）への対応を想定し、より実践的な訓練を行うことで、課題、問題点を検証し、今後につなげていきたいと考えています。

# 消防団、DMAT、DPAT合同訓練

平成28年2月7日

14:00—16:30

於 奈良市尼辻北町

近畿日本鉄道(株)西大寺検車区、近鉄スポーツセンター

# 訓練場所 全体図



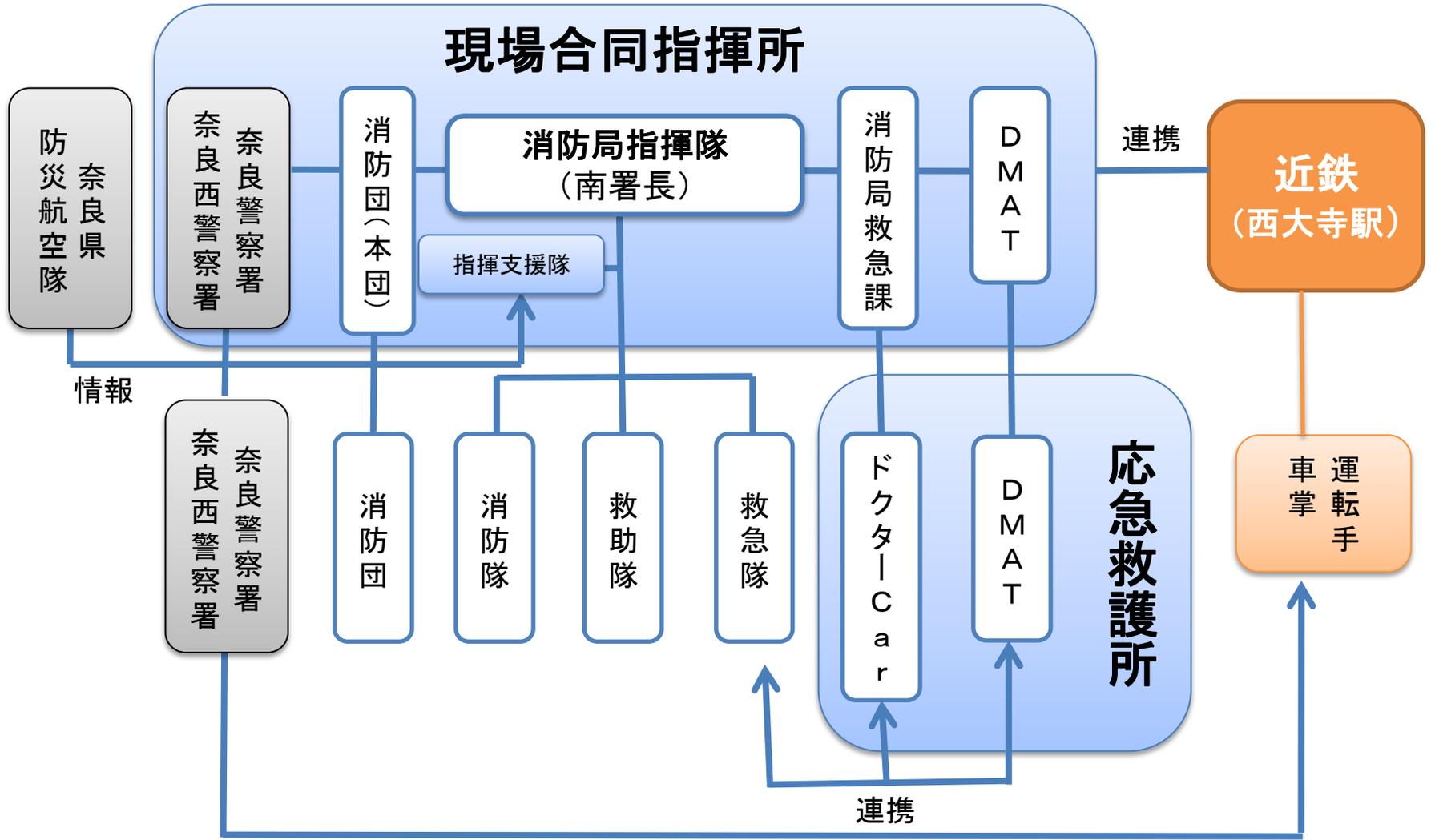
## 訓練 I

10

## 訓練 II

緊急救護所  
及び駐車場

# 訓練 I 組織図



事情聴取

訓練 I - 1

I - 1  
【避難誘導】



I - 2  
【応急救護】

訓練 I - 2

現場指揮  
本部

応急救護所

- × 1人 (トラック運転手)
- × 5人
- × 10人
- × 10人 +  $\alpha$



# 平成26年度 奈良市消防団、DMAT、DPAT合同訓練（実績）

更新日15/02/20

日時： 平成27年2月9日（月）

場所： 奈良ロイヤルホテル（全館貸切、停電状態）

主催： 奈良市消防団

共催： 奈良市消防局

国立精神・神経医療研究センター災害時こころの情報支援センター

参加機関： 奈良市消防団、奈良市消防局、災害時こころの情報支援センター、消防団員等公務災害等共済基金  
DMAT（市立奈良病院）、日赤救護班（京都第一赤十字病院、日赤救護班京都府支部）  
DPAT9自治体（奈良県、千葉県、富山県、静岡県、大阪府、岡山県、山口県、福岡市、沖縄県）  
奈良県精神保健福祉センター、奈良市医師会、奈良市保健所、奈良市危機管理課  
奈良市佐保川地区自主防災防犯協議会、奈良市女性防災クラブ、奈良ロイヤルホテル、  
他自治体消防団

見学機関： 総務省消防庁、厚生労働省、奈良市議会、陸上自衛隊第7施設群、日本火災学会、JR西日本、  
奈良県医師会、奈良県下消防本部、奈良県下消防団、奈良県防災統括室、奈良県消防救急課、  
奈良県保健予防課、奈良県地域医療連携課、奈良県臨床心理士会、奈良市自主防災防犯協議会、  
近代消防社、国立大阪医療センター、他自治体関係者、他自治体消防団

協力機関： 公益財団法人 日本消防協会

計427名

目的； 災害時における連携を目標として  
消防関係者と医療関係者との顔の見える関係をつくる

内容； 奈良市内における局所災害を想定

### 訓練Ⅰ 消防団による避難誘導



### 訓練Ⅱ 避難所対応（消防団と医療関係者との連携）

